

栄区青少年指導員だより

No.64

か

た

ら

MAR 1, 2022

YOKOHAMA
YOUTH
MENTOR横浜市青少年指導員
連絡協議会の
シンボルマーク

第27期 第2回全員研修会の開催報告

11月28日(日)

約2年間、新型コロナウイルスの影響で、第27期は各地区ほとんどの行事開催ができませんでした。今回笠間地区の郷土史を学ぶ全員研修会を行うことができました。

笠間地区の案内で、10名程で5班に分かれ、時間をずらし①笠間中央公園②鹿島神社③起立社④馬頭観世音⑤かに井戸⑥今泉不動道標⑦回国記念碑⑧上町庚申塔群⑨青木神社の順に見学いたしました。



①



②



③



④



⑤

笠間中央公園では「竪穴住居跡」は現在見る事は出来ませんが、ここで発掘された土器等は西本郷小学校にて保管されているそうです。

また、笠間十字路近くの高台に有る起立社は御嶽信仰によって建てられたとの事ですが、丘の上から景色は絶景でした。

最後の見学は 1335年創建の青木神社。御祭神は雨手力男命(あめのたじからのみこと) 天照大御神(あまてらすおおみかみ) 伊弉諾尊(いざなぎのみこと) 伊弉冉尊(いざなみのみこと)。この神社のご利益は、それぞれの神様にゆかりのあるもので、拝殿には神話の一部が描かれたものが収められているそうです。

また、境内には現在も無病息災や心身が清められる茅の輪が置かれており、今回は伊藤会長を先頭に参加者全員で茅の輪くぐりをしました。軽く一礼し左足より輪に入り左回りで前に戻り今度は右足から入り右回りで、次は左足からと順に行い、最後は左足から入り神前に進み二拝 二拍手 一拝しました。皆さんご自身の身が自然に清められ、爽やかな気持ちになっておられたように感じられました。

青木神社宮司の石井様から神社にまつわる色々なお話を頂き、笠間地区には準備から説明役まで大変苦勞をかけた。

研修部会一同



⑥



⑦



⑧



⑨

私たちの飯島中学校

昭和53年（1978年）4月 開校

体育祭

色別対抗と学級対抗で行います。1年生から3年生の縦割り集団の中で、団長を中心に3年生がリーダーシップを発揮しています。学年種目の大縄跳びは、クラスが一致団結して毎年とても盛り上がります。



文化祭

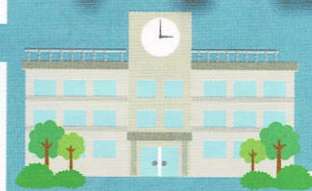
校内発表部門では、各教科の学習成果やスピーチ、吹奏楽部の演奏、委員会や生徒会の取り組み等、様々な内容を発表します。合唱部門では、クラスごとに練習を積み重ねて、毎年きれいな歌声を響かせます。



飯島中学校のホームページ ▶



中学校



私たちの桂台中学校

昭和53年（1978年）4月 開校

学校の紹介

桂台中の特徴として、地域の皆さんと共に、花壇を整備したり、隣接する「径」「朋」と交流をしたりするなど、活発な地域連携があります。他にも、総合学習で、興味・関心、社会情勢などを考慮し、学年ごとのテーマに関わる探究課題から自ら課題を立て、協働的に整理・分析する取り組みを行っています。



体育祭

3学年が縦割りとなり、赤、白、青組の3つ分かれて取り組みます。学年種目である全員リレーには、どこのクラスも一丸となって競います。3年生によるソーランは、最上級生の素晴らしさを継承していく演技となっています。



校章の由来

桂台中学校は本郷中学校と上郷中学校を親校として誕生しました。この三校を3つの輪であらわし校章としました。また、これら3つの輪には1年2年3年生の和ならびに知徳体の調和と統一のとれた生徒像をあらわす意味もこめられています。

教育目標

- 【真剣】 学びを継続し、粘り強く課題解決する生徒を育てます。(知)
- 【夢と希望】 自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、気づき、行動できる生徒を育てます。(徳)(体)
- 【貢献】 出合いを大切に、地域に貢献する生徒を育てます。(公)(開)

文化祭

オレンジフェスティバルと呼ばれています。学年ごとに、全体で演劇を作りステージで披露するものと、クラスごとに合唱を発表する合唱コンクールの2つで構成されています。

桂台中学校のホームページ ▶



私たちの西本郷中学校

昭和53年(1978年)4月 開校

校章の由来

昇降口入口正面に植えてある本校のシンボル「くすのき」は、常緑で寒さに強く大木になり、中学生の若さや意欲、未来の発展を象徴するのにふさわしい樹である。この「くすのき」の葉を3枚組み合わせでデザインした。3枚の葉(3学年)が互いに支えあって全体の調和を生み出している。

文化祭(楠笑祭)

通常、展示物や各団体による校内発表の部とホールを借りての合唱の部を2日間にかけて開催しています。昨年度は体育祭同様コロナ禍により、通常通りの開催はできませんでしたが、神奈川県民ホールが予約できていたため客席数に余裕があり、合唱の部を行うことができました。練習時間や練習方法に制限があり、厳しい状況での開催でしたが聞く人を感動させる合唱が繰り広げられました。



体育祭

色別対抗(各学年1クラスずつ4チーム)で行われます。昨年度は創立40周年記念の体育祭でしたが、コロナ禍により種目の削減や時間の短縮等、多くの課題を抱えていました。しかし、実行委員会を中心に工夫を凝らし、思い出に残る体育祭を開催しました。また、同窓会から贈呈された法被を着て3年生が堂々としたソーラン節を披露しました。



学校の紹介

教育目標

『自ら挨拶 自ら判断 自ら行動
人とのつながりを大切にする
思いやりある西本中生』

具体的な取り組み目標

- [知]** 自ら学び続け、自分の生き方を切りひらく力を高めます。
- [徳]** 互いに生き方を尊重し、多くの人とふれあうなか、礼儀と規律を大切にします。
- [体]** 自他の命を尊び、たくましい心と体をつくります。
- [公][開]** まちや社会のなかで共に認め合い、協働し貢献する姿勢を育みます。



西本郷中学校のホームページ

紹介

私たちの本郷中学校

昭和22年(1947年)4月 開校

校章の由来

外輪部にある5個の「本」の字は、当時の学区になっていた5つの「郷(地区)」(笠間・長尾台地区、小菅ヶ谷飯島地区、鍛冶ヶ谷地区、上郷・中野地区、桂・公田地区)を表しています。互いの地区が手を携えることによって本郷中学校の発展を祈念しました。

学校の紹介

栄区でもっとも古くからある中学校です。長い校舎と広い校庭では、生徒たちが伸び伸びと生活し、学習しています

学校教育目標

自ら学び ひとつつながり
しなやかに未来を拓く人

学校スローガン

あ **せ** **か** **け**
(挨拶) (清掃) (感謝) (けじめ)



体育祭

今年度より5月開催となりました。今年度はコロナ禍により、伝統の3年生による本中ソーランを披露することはできませんでしたが、各学年が工夫を凝らした競技を行い、盛り上がりました。



文化祭

(英語スピーチ、国際平和スピーチ、合唱コンクールなど)

毎年、鎌倉芸術館で行います。合唱コンクールは、各クラスが練習に練習を重ねて磨いた歌声を披露し、感動を誘います。



本郷中学校のホームページ

行事開催報告

豊田地区

しめ縄教室(12月26日)




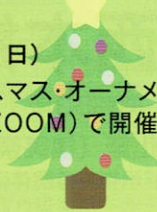
クリスマスフラワー
アレンジメント(12月19日)



本郷中央地区

アート教室(12月11日)

「モールで作るクリスマス・オーナメント」をオンライン(ZOOM)で開催しました。

本郷第三地区

お焚き上げ(1月9日)
お焚き上げの火で暖まり、
無病息災をお願いしました。



しめ飾りづくり(12月26日)
しめ飾りの材料の意味を教えて
もらいながら上手に作れました。



上郷東地区

江ノ島バックに
新江ノ島水族館

バスハイク
(11月1日)

ソレイユの丘
今日は楽しかったよ





表彰者


| | | | | | | | | |
|---|---------------------------|---|----------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|------------------------|------------------------------|
| <p>25年</p> <p>横濱市永年勤続者顕彰</p> <p>佐々木 康夫さん (豊田)</p> | <p>横山 雅光さん (小菅ヶ谷)</p> | <p>神奈川県育成 活動推進者表彰</p> <p>草薨 義勅さん (本郷中央)</p> | <p>橋本 哲芳さん (本郷中央)</p> | <p>齊藤 和則さん (小菅ヶ谷)</p> | <p>神奈川県青少年指導員 表彰</p> | | | |
| <p>10年</p> <p>雪下 加代子さん (本郷第三)</p> | <p>三宅 正憲さん (上郷東)</p> | <p>松本 晶子さん (本郷中央)</p> | <p>藤崎 美保子さん (本郷中央)</p> | <p>横山 雅光さん (小菅ヶ谷)</p> | <p>加藤 紀久雄さん (小菅ヶ谷)</p> | <p>一瀬 好文さん (小菅ヶ谷)</p> | <p>川本 治さん (笠間)</p> | <p>15年</p> <p>横濱市永年勤続者顕彰</p> |

第71回 社会を明るくする運動

~犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える地域のチカラ~

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

栄区においても、自治会・町内会、保護司会、更生保護女性会等を中心にして、身近な問題として取り組んできました。



広報部会員紹介

| | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 部長 | 大塚 丈夫 | 小菅ヶ谷地区 | 梶川 浩 |
| オブザーバー | 澤井 健一郎 | 小菅ヶ谷地区 | 加藤 紀久雄 |
| 副部長 | 田淵 泰徳 | 本郷中央地区 | 川上 裕臣 |
| 副部長 | 見上 秀雄 | 本郷中央地区 | 富永 和博 |
| 副部長 | 齊藤 司 | 本郷第三地区 | 古川 博宣 |
| 副部長 | 一瀬 好文 | 本郷第三地区 | 小林 孝 |
| 副部長 | 長澤 涉 | 上郷西地区 | 坂田 直正 |
| 豊田地区 | 小林 拓也 | 上郷東地区 | 乾 進 |
| 笠間地区 | 松本 多貴子 | | |

あとうがき

コロナの終息が見えなく緊急事態宣言も続き、今回もまた広報の発行を見送る事態になるのではと懸念をしておりました。

しかしながら宣言も解除になり2年ぶりの催しは27期の第2回全員研修会でした。出来れば小中学生を交えた催しが行われればよりベターであったことでしょう。上記のとおり一部の地区は実施出来ました。早くコロナの終息を待ち、楽しい催しが各地区でまた区全体で出来ることを待ち望みます。

また、2-3面の学校紹介も前回の小山台中学校と上郷中学校に続き2年ぶりの掲載となりました。次回からは14校ある小学校と特別支援学校を順に紹介して行きたいと思っております。

広報部会長 大塚 丈夫

第64号 ●2022年3月1日発行

発行 ●栄区青少年指導員協議会

編集 ●栄区青少年指導員協議会 広報部会

事務局 ●栄区役所
地域振興課 生涯学習支援係
横濱市栄区桂町303番地19
電話 045-894-8395

印刷 ●株式会社 シーケン